京都交通労働組合　第83回定期大会

“創造と挑戦”

～公共交通の頂をめざして～

2011 9.22　於 京都ロイヤルホテル＆スパ

・・・力強く団結ガンバロウ三唱・・・

～質の高いチームワークの形成と士気の高い職場をめざして～

京都交通労働組合「第八十三回定期大会」を開催！

京都交通労働組合は、去る二〇一一年九月二十二日（木）九時三十分から「京都ロイヤルホテル＆スパ」において、門川大作京都市長をはじめとする各界各層を代表する多数のご来賓を迎え「第八十三回定期大会」を開催しました。冒頭、司会の三木元自動車部長から「厳しい状況の立場に変わりはありませんが、空には鳥が飛ぶ道がある、魚には泳ぐ道がある、天には星の巡る道がある、このように私たちは、市民の市バス・地下鉄を公営で守るという目標に向け邁進していくことが生きていく道である。」と挨拶に立ち定期大会の幕が上がりました。続いて、主催者を代表して瀬戸執行委員長が、①東日本大震災について②原発問題について③政治情勢並びに各種選挙について④職場の問題について以上大きく四点に分けて挨拶を述べました。次に大会の仕切り役を務める議長団に、自動車部西賀茂支部亀石代議員・電車部電整支部山本代議員を選出。また、資格審査委員長に自動車部烏丸支部澤野代議員、大会運営委員長に電車部烏丸線乗務支部朝田代議員をそれぞれ選出しました。議長団を代表して亀石議長は「私は元気に挨拶することをモットーにしています。そうすることで職場が明るくなり、お客様に対しても良いサービスが提供できると思っています。そして、お客様から感謝されるというプラスの連鎖が働くと信じているので、それぞれの職場でも拡げていただきたい。」と就任の挨拶を行い議事進行に入りました。先ずはじめに公私ともに多忙の中、門川大作京都市長をはじめとする多くの来賓の皆さまが紹介され、定期大会開催の華向けとして数多くのご祝辞をいただきました。続いて、第一号議案の「私たちを取り巻く情勢」ならびに「二〇一〇年度活動報告」さらに「二〇一〇年度会計決算報告」が佐田副執行委員長からそれぞれ提案・報告、会計監査報告が電車部烏丸線乗務支部奥代議員より提案され、満場一致で承認されました。午前の部の最後は、長年の京交組合運動にご尽力いただいた先輩方を称える組合表彰を行い、昼食休憩に入りました。午後からは、第二号議案の「二〇一一年度運動方針（案）」が中谷書記長から提案され、代議員の活発な議論をもとに向こう一年間の運動方針が決定されました。続いて「二〇一一年度予算（案）」等、第九号議案まで本部側から順次提案され、滞りなく承認をいただきました。また、大会スローガンの確認に続き大会宣言（案）が提案され、全員の大きな拍手で決定されました。大会を成功に導いた議長団の山本議長は、「今日参加の代議員の皆様は、決定した運動方針を職場に持ち帰って、京交発展のため尽力してください。」と降壇の挨拶を述べ、最後に、瀬戸執行委員長の発声により大会参加者全員による「ガンバロウ三唱」が声高らかに力強く行われ、第八十三回定期大会を締め括りました。

司会を務めた
三木元自動車部長

議　長　団
㊧亀石直也代議員㊨山本勇代議員

京交

京都交通労働組合
電話(075)841－0948
発行者 瀬戸高志
編集者 教宣部一同

・・一　面・・
・第83回定期大会開催

・・二　面・・
・ご来賓の方々のご挨拶要旨
・前原衆議院議員メッセージ
・福山参議院議員メッセージ

・・三　面・・
・質疑応答
・大会来賓者名

・・四　面・・
・定期大会に参加して
・大会宣言
・第83回定期大会表彰者
・編集余談

ご挨拶（要旨）

瀬戸高志執行委員長

京交第八十三回定期大会の開催にあたりまして執行部を代表し一言ご挨拶申し上げます。

冒頭、市民はじめお客様の足を守るため、連日、昼夜を問わず働く組合員の皆様に対しまして、心より敬意を表したいと思います。また、公私共々大変お忙しい中を門川大作京都市長はじめ各界・各層より多くのご来賓の皆様にご臨席賜り誠にありがとうございます。ご来賓の皆様方には、日頃より私ども京交運動に対する深いご理解とご支援、ご指導をいただいている事に対しまして、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

先ずは、三月十一日に発生しました東日本大震災という未曾有の大災害で亡くなられた方々に心よりお悔やみ申し上げるとともに、被災された皆様方にお見舞い申し上げます。また、二万人に迫る尊い命を奪った大地震と津波から半年しか経過していないにもかかわらず、紀伊半島での台風十二号被害が追い打ちをかけ、日本列島に天変地異が牙を剥きました。被害規模は異なりますが、突如として明日を絶たれた人々の悲痛を思うと心苦しい限りであります。そのような中、国民が「がんばろうNIPPON」を合言葉に奮闘する中、微力ではありますが、私たち京交も連合救援ボランティアにも参画してきました。さらには、青年女性委員会が率先して何か役に立ちたいということで、九月五日から三日間、陸前高田市へボランティア活動に赴いたところであります。今後も引き続き、復旧・復興の役に立てる機会ある度に積極的に参加していきたいと考えています。

次に、原子力発電所問題に触れておきます。福島第一原子力発電所が水素爆発を起こし、剥き出しになった原子炉を目の当たりにして皆さんは何を思われたのでしょう。このような大惨事に至るまでは、原子力発電は安全だという神話が根拠なく蔓延し、おそらく何不自由なく使用した上に、綺麗な夜景を見ては感動に浸っていたはずです。しかし、東日本大震災発生によりもろくも安全神話は崩壊したのです。ややもすれば、水が飲めず、食べ物もなくなり、病に冒され、究極は人類滅亡にも繋がって行くのかもしれません。この大惨事を契機に、人間の制御力を過信していなかったか、未来への責任から目を反らしていなかったか、今後どのような社会を構築していくのか、心底原点に帰って議論を深める時期にあると思います。代替エネルギーへの転換には時間を要することと思いますが、再生可能エネルギーの実用化並びに普及に向け力を注いで欲しいものです。

本年四月には統一地方選挙が実施されました。民主党にとっては大変厳しい闘いであったことは言うまでもありません。大阪や名古屋では既存政党に代わる新しい党が躍進し、京都においても同じような現象が見られ、準組織内の今枝徳蔵議員の闘いにおいては大変危機感を抱きましたが、皆様方のご協力により勝利を勝ち取ることができました。ここに改めて喜びを分かち合いたいと思います。本当に有難うございました。ただこの先、大阪市長選挙という大変重要な闘いが控えています。改革と言えばすべてが正しいかの如くパフォーマンスを繰り広げ、独裁的な手法を多用する知事より、現職市長の再選に向けて、大交はじめ関西地本の仲間とともに闘って参りたいと思います。さらには、来年2月に実施される京都市長選挙であります。私たちの社長を決める大事な選挙でありますが、悲しいかな京都という街においては、3党相乗りしなければ勝利できない難しい選挙区であります。門川市長には地下鉄の財政問題を筆頭に、地方公共団体の財政の健全化に関する法律で大変なご尽力をいただきました。私たち京交組合員は、引き続き健全化団体の早期脱却をめざし真摯に仕事に取り組んで参りますので、次期市長選挙においても立候補の決断を要請しておきます。

次は、私たちの職場の問題であります。個々の案件ついては述べませんが、多くの仲間の都市でメディアを賑わしています。このような状況が続くようであれば行政改革のスケープゴートにされ、公営交通の存在意義が薄れることは間違いなく、火を見るよりも明らかです。京都も例外ではありません。仕事と余暇の区別をしっかりつけ、市民やお客様のために「ええ仕事」をしようではありませんか。また、これから京都で一番のピークである秋の紅葉シーズンが到来します。私たちには分かることでも、観光客の方はじめお客様は不慣れなことばかりです。ついつい自分目線で接客していませんか。京都人は本音を出さない「腹黒い」と思われている節があるようです。特に、初めて京都観光にお越しになるお客様には親切丁寧に接していかなければ、いつまで経っても京都のイメージが悪いままであります。現場の第一線で活躍する皆さんの奮闘を期待しています。

結びに、本日の大会では代議員の皆さんの活発な討議により、京交一丸となって活動できる方針を決定していただきたいと思っています。京交執行部は、いかなる状況におかれようとも決して怯むことなく、高い志を抱き、公営交通の発展に向け積極果敢に運動を展開することをお誓い申し上げ、執行部を代表しての挨拶とします。

・・・ご来賓の方々のご挨拶要旨・・・

門川大作
京都市長

京交八十三回定期大会が、力強く開催されたことに心より敬意を表します。日本は今、東日本大震災、台風と天災が続いております。地震発生直後、支援物資を運ぶ市バスの姿に各方面よりお褒めの声を頂き、改めて京交の支援活動の展開に感謝いたします。京交の皆様には日頃から率先して一四七万市民の足、年間五千万人の観光客の足を守るという徹底したお客様本意の取り組みをして頂いております。春の連休、秋の観光シーズンにおけるエンパワメント活動の取り組み、大晦日の市バス清掃など、「安全・安心」に対する組合主導の取り組みには大変感謝しております。それらを教訓に組合員のモチベーションを高めていく活動は、今後の京交の発展に繋がると確信しております。また、経営健全化計画に取り組む中、市バス七十四系統の内、四分の三が赤字にも関わらず、皆様の努力により八年連続黒字を達成することができました。地下鉄につきましても、一昨年二十八年ぶりに現金収支が黒字化し、昨年その黒字は大幅に向上いたしました。さらに、この厳しい社会情勢の中、昨年度、地下鉄は一日当たり三千人の増客となり、駅ナカビジネス、徹底した経費削減などの様々な取り組みによって健全化が着実に前進しております。しかし、まだまだ茨の道であります。これからも京交の皆様とともに、観光客や市民の方々に「地下鉄・市バス」があってよかったと実感して頂ける取り組みを進め、どんな事があっても公営交通を守って行く決意でございますので、引き続きよろしくお願いいたします。

高木敏雄
都市交　中央執行委員長

京交第八十三回定期大会が盛大に開催されたことを心よりお祝い申し上げます。都市交におきましても、過日第七十七回定期大会を行い、運動方針を決定したところでございます。京交組合員の皆様のご協力をよろしくお願いします。さて、最近のキーワードとして、三点挙げられると思います。ひとつは、三月十一日に発生した東日本大震災です。都市交といたしましては、救援物資の搬送や連合を通じたボランティア派遣等に積極的に取組みました。今後も地域のニーズを鑑みながら、継続した支援を行っていきたいと考えております。二つめは、国家公務員改革関連法案でございます。早ければ秋の臨時国会で通過するかもしれません。しかし、法案が成立すれば、人事院勧告や人事委員会勧告が廃止され、自律的労使関係制度が実現することとなり、四囲を取り巻く状況が変化することから注視しておかなければなりません。三つめは、都市交の産別としての課題でございます。地公三単産の統合は実現しませんでしたが、大同団結をはかり労働運動を前進させることは重要であるため、引き続き都市交として進むべき道を模索しているところでございます。また、来るべき大阪市長選挙では京都の皆さまにもお力を貸していただき、公営交通存続に向けて頑張ってまいります。結びに、京交の益々の発展をお祈りいたしまして挨拶といたします。

連合京都
細田一三会長

三月十一日に発生した東日本大震災において、支援物資やボランティア、カンパ等で京交の皆様に大変なご協力をいただきお礼を申し上げます。そして、春の統一地方選挙では皆様方の絶大なるご尽力をいただきながらも、連合京都推薦の全ての方々の当選とはなりませんでした。残念な結果となりましたが、今一度組織強化を図っていきたいと思っております。また、日頃は、連合京都の運動に瀬戸委員長はじめ、皆様方に大変なご協力とご支援をいただいていることに改めてお礼を申し上げます。加えて、今回は近畿ブロックのユースラリーを京都で開催したということもあり、青年委員会に大西委員長を派遣いただき、陣頭指揮を含めて非常にご尽力いただいたことに重ねてお礼申し上げます。連合本部は十月四日・五日に、連合京都も十月二十八日に「復興・再生に全力を尽くし、働くことを軸とする安心社会の実現に向けて取り組む」をスローガンに掲げ、定期大会を開催いたします。私共そう大きな力ではございませんが、スローガンに沿った取り組みを皆様とともに進めていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。結びに、今大会を機に京交が益々ご発展されることを祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

市労連
松田國広委員長

京交第八十三回定期大会開催おめでとうございます。まず、市労連として取り組んだ東日本大震災カンパにご協力いただきありがとうございました。「統一要求」「統一交渉」「統一妥結」の三つのスローガンの下、市労連は賃金確定や政策運動、産別課題等、京都市当局を追及しながら私たちの生活を守ることを基本に運動を進めています。本年度は震災の影響により人事委員会勧告は遅れていますが、既に京都市人事委員会に対しては要請行動を行い、例年通り闘争配置しています。十月六日には当局と第一回団体交渉を予定しており、以降十一月十四日の山場に向け、市労連に結集する七単組それぞれの政策運動や要求を最終的に妥結する方向で予定しております。私の出身である水道局は一定の黒字を確保していますが、今後も、人員体制や公務員バッシングに耐えられるような政策運動を基に、各単組が抱える問題を市労連総体で共有できるような運動を考えております。昨年、市労連は六十五周年を迎えました。市労連の歴史は京交の歴史なくしては語れません。結成当時から市労連運動の牽引役を果たしてきたのは京交の先輩方であります。現在、公営交通を取り巻く情勢が大きく変化する中で、京交の皆さんの苦労を市労連で共有できれば良いと思っています。そういった意味からも、第八十三回の定期大会では、未来に繋がる活発な議論の展開をお願いしたいと思っております。本日は誠におめでとうございます。

葛西宗久
交通局長

京交第八十三回定期大会開催おめでとうございます。また、京交の定期大会に多くの来賓の皆さまにお越しいただき感謝を申し上げます。交通局は平成二十一年度から経営健全化計画に取り組み、ハードルを一歩ずつ順調に乗り越えてきました。ただ、これは京都市全庁の協力があってのものであります。今一度、現況を見つめ直し、過去の結果に決して浮かれることなく、これまで以上に頑張らなければなりません。また、バス事業における有責事故が年間一四〇～一五〇件に上っています。これからの公営交通を守る為にも事故は絶対に減らさなければならなりません。結果を出すことで市民からの信頼を勝ち得られるはずです。言うなれば、「調子の良い時こそベルトを締めなおす！」京交におかれましても、そういったことを再認識し、共にゴールを目指しましょう。

準組織内
今枝徳蔵市会議員

定期大会の開催にお祝いを申し上げます。四月の市議会選挙では大変お世話になりありがとうございました。何一つかけても当選を勝ち取ることができなかったと痛感しています。とりわけ、京交の皆様には最前線でお手伝いいただき重ねて御礼を申し上げます。また、来年には市長選挙が控えています。門川市政の四年間の評価を踏まえ、次も是非頑張っていただきたいと思っています。京都市財政を逼迫させている地下鉄の赤字も四千万円から二千五百万円に減少しています。京都の宝として、市民の足として交通局を守っていくとともに、大好きな京都のために頑張ります。

～メッセージ～

松井孝治
参議院議員

国会開催中であり代理参加もいますが、各級議員のお招きありがとうございます。京交第八十三回定期大会の開催、心からお祝い申し上げます。

冒頭、瀬戸委員長から、「政権交代をして二年が経過し、この間、鳩山内閣、菅内閣をはじめ京都出身の民主党議員を中心に支えてきたが、どうなっているのか」と厳しいご指摘を頂きました。現政権の野田内閣は地味ですが、今後、足の引っ張り合いでなく、京交の皆様が市民の足になって頑張っておられるように、我々も国民の下部になって仕事をすることを原点に頑張って参ります。また、私は陳情要望本部の役員に就任しましたので、京交の皆様はじめ京都市の要望も聞いて参りたいと思います。公営交通の事業廃止が多くの都市で見られるようになりました。しかし、無くなってはじめて必要性が理解されます。さらに、大震災や台風被害等の災害時における救援活動やボランティア活動は、多くの公務員の方を中心に活躍され、ここにきて公務員の必要性が国民に浸透してきたと実感しています。国民生活を豊かにするために頑張ります。本日はおめでとうございます。

本日、「京都交通労働組合第八十三回定期大会」が盛大にご開催されますことを心よりお慶び申し上げます。瀬戸高志執行委員長をはじめ、皆様には日頃より大変お世話になり、誠にありがとうございます。

内閣官房副長官在任中は、東日本大震災と原発事故に対応するとして危機管理対応に追われた日々でしたはじめとして、京都交通労働組合の皆様にもご支援、ご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。小生は参議院外交防衛委員長を拝命いたしました。今後も与党議員の一人として、引き続き原発事故の収束をはじめ諸課題に取り組んで参ります。

衆議院議員　前原誠司

本日は京都交通労働組合様の「第八十三回定期大会」が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

ご案内を頂きましたが、公務の為やむをえず欠席となりました事をお詫び致します。

得先般行われた統一自治体選挙におきましては、皆様に多大なるご尽力をいただきまして誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

過日新政権が誕生して二十日余りが経過、今月初めに野田新政権が誕生して二十日余りが経過しました。私も政調会長の重責を担わせていただくこととなり、一致団結・全員野球で四重・五重の国難に対処して参る所存です。引き続き、皆様のご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

結びとなりますが、京都交通労働組合の今後の発展と、本日ご参集の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

平成二十三年九月二十二日

衆議院議員　前原誠司

本日、「京都交通労働組合第八十三回定期大会」がご開催されますことを心よりお慶び申し上げます。瀬戸高志執行委員長をはじめ、皆様には日頃より大変お世話になり、誠にありがとうございます。

内閣官房副長官在任中は、東日本大震災と原発事故に対応するとして危機管理対応に追われた日々でしたはじめとして、京都交通労働組合の皆様にもご支援、ご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。小生は参議院外交防衛委員長を拝命いたしました。今後も与党議員の一人として、引き続き原発事故の収束をはじめ諸課題に取り組んで参ります。

参議院議員　福山哲郎

祝電およびメッセージ

- 札幌市交通労働組合
- 苫小牧市交通労働組合
- 函館市交通局労働組合
- 青森交通労働組合
- 八戸交通労働組合
- 仙台市交通労働組合
- 高槻市交通労働組合
- 伊丹交通労働組合
- 尼崎交通労働組合
- 明石市交通労働組合
- 徳島市交通労働組合
- 呉公営交通労働組合
- 宇部交通労働組合
- 松江交通労働組合
- 北九州市交通局労働組合
- 福岡交通労働組合
- 佐賀交通労働組合
- 佐世保交通労働組合
- 長崎交通労働組合
- 熊本市交通局労働組合
- 都市交東北・北海道地方本部
- 自治労京都市職員労働組合
- 京都市水道労働組合
- 京都市学校給食職員労働組合
- 近畿日本鉄道労働組合
- 阪急電鉄労働組合
- 京阪電鉄労働組合
- 京福電鉄京都労働組合
- 阪急バス労働組合
- NTT労働組合京都総支部
- 電機連合京都地方協議会
- ジーエス・ユアサ労働組合
- 全農林労働組合近畿地方本部
- 日本写真印刷労働組合
- 三菱自動車工業労働組合
- 日本郵政グループ労働組京都連絡協議会
- 大阪ガス労働組合京滋ブロック
- 弥榮自動車労働組合
- 全日本港湾労働組合日本海地方舞鶴支部
- 関西電力労働組合京都地区本部
- 京都地方交通運輸産業労働組合協議会
- 社団法人京都勤労者学園
- 全労済京都府本部
- 衆議院議員　平智之
- 衆議院議員　前原誠司
- 衆議院議員　泉ケンタ
- 衆議院議員　北神圭朗
- 衆議院議員　山井和則
- 参議院議員　福山哲郎
- 京都府議会議員　山本正
- 京都府議会議員　佐川公也
- 草津市会議員　大脇正美
- 京都府知事　山田啓二

質疑応答

〈第2号議案〉

九条支部　田中正則代議員

Q 運動の基本姿勢について、「やたらと余暇を増やし」という表現があるが、具体的にどういうことか？

九条支部
田中正則代議員

A ワークシェアリングで労働時間が奪われ、賃金減少に繋がることがいいのか、ということである。

Q 運動の基本姿勢について、「高齢者から働く場を奪い、ただ、社会の厄介者として扱うことが、労働運動として正しいのでしょうか」という表現があるが、適切ではないのでないか？

中谷文明
書記長

A 「高齢者にも働く場を提供していきたい」という主旨はご理解いただいているので、表現については考えていきたい。

Q 高齢者が働くことには賛成だが、私は六十歳で定年を迎え引退し、若い人に働く場を任せるのが自然な流れだと思う。六十歳から年金がもらえるような運動に取り組んではどうか？

九条支部
橋本充代議員

A 現在の社会風土の中で、労働意欲のある人が働けなくなるよりは良いのではないか。六十歳定年→年金支給の件は意見として賜る。

Q 定年延長についてはどうなっているのか。また、四四特例は制度として適応されていくのか？

A 定年延長や年金制度等、詳細が分かり次第報告していきたい。

Q 組合員と執行部の意思疎通を図り、開かれた組合活動を進めるなら「職場懇談会」を実施するのが最良の手段ではないか？また、学習会・研修会は是非開催して頂きたい。

佐田悟
副執行委員長

A 「職場懇談会」は、組合と組合員の意思疎通を図る上で大事なツールとして理解している。勉強会については、開催に向け検討していきたい。

～大会参加代議員～

～熱心な議論に参加～

九条支部　橋本　充代議員

Q 休日日数を増やす考えはないか？

A 総労働時間の短縮が休日日数の増に繋がると考えている。

〈第6号議案〉

九条支部　田中正則代議員

Q 法律に基づく専従期間は何年か？また、離籍した専従役員とは？

A 法律は五年であるが、政令で七年まで読み替えが可能である。七年を経過すれば専従することができないため、交通局職員に復帰するか、交通局を退職し京交の職員になることとなる。何れにしても組合運動の後退にならないよう制度を創り上げるものである。

田中直人
書記次長

～大会来賓者名～

（敬称略）

京都市	市長		門川　大作	〃	中京区選出	田中　健志
京都府	商工労働観光部　労政課　課長		福田　良幸（知事代理）	〃	山科区選出	豊田　貴志
連合京都	会長		細田　一三	〃	伏見区選出	田渕五十生
日本都市交通労働組合		中央執行委員長	髙木　敏雄	〃	伏見区選出	松井　陽子
都市交関東地本	東京交通労働組合	執行委員長	安田　　潔	民主・都みらい京都市議会議員団	下京区選出　準組織内議員	今枝　徳蔵
〃	横浜交通労働組合	執行委員長	横山　利男	〃	伏見区選出　副議長	安井　　勉
都市交東北北海道地本		執行委員長	大友　次夫	〃	北区選出	片桐　直哉
都市交関西地本	大阪交通労働組合	執行委員長	中村　義男	〃	左京区選出	鈴木　正穂
〃	名古屋交通労働組合	執行委員長	奥野　則男	〃	左京区選出	隠塚　　功
〃	神戸交通労働組合	執行委員長	五百旗頭英裕	〃	右京区選出	青木　芳香
都市交中国九州地本		執行委員長	大庭　広文	〃	東山区選出	中野　洋一
京都市労連（京都市水道労働組合）		執行委員長	松田　國広	〃	西京区選出	天方　浩之
民主党京都府総支部連合会会長		衆議院議員	山井　和則（秘書代理）	〃	伏見区選出	山岸　隆行
民主党京都府連第２区総支部		衆議院議員	前原　誠司（秘書代理）	〃	伏見区選出	山本　拓史
〃	第３区総支部	衆議院議員	泉　　健太（秘書代理）	京都市公営企業管理者	交通局長	葛西　宗久
〃	第４区総支部	衆議院議員	北神　圭朗（秘書代理）	近畿労働金庫　京都支店	支店長	生駒　正明
民主党京都府総支部連合会		参議院議員	福山　哲郎（秘書代理）	きらら保険サービス（株）関西支店　営業担当部長		石田　龍司
〃		参議院議員	松井　孝治	京交顧問団		岡本　光冶
民主党京都府議会議員団		北区選出	平井　斉己	〃		梅林　　等
〃		左京区選出	北岡ちはる	〃		長谷川雅也
〃		左京区選出	島内　　研	〃		村尾　　強

取材を担当した教宣部一同

奥会計監査委員

澤野　喜好　資格審査委員長

朝田　惠己　大会運営委員長

・・・定期大会に参加して・・・

本局支部　大久保隆洋

来賓の方の挨拶で述べられたとおり、民主党政権に変わったものの、経済や国際問題等多くの面で国民の期待に応えられていないと思いました。また、震災や原発問題等、社会を取り巻く状況が刻一刻と変化する中、交通局を取り巻く状況も当然のように大きく変化していることを改めて強く感じました。二〇〇九年に施行された自治体財政健全化法に基づいて経営健全化団体に指定され、様々な取組で健全化を図っているところですが、あくまで公共交通の基本は、お客様に「安心・安全・快適」にご利用いただくことです。健全化ばかりに目を向けてその根底が欠落してしまっては意味がありません。増収及び支出削減のための計画を推進しながら、さらなる「安心・安全・快適」を追求していくためには、京交の掲げる「創造と挑戦」というスローガンの実現がまさに不可欠であると思います。「安心・安全・快適」と健全化の両立を図るために、想像力を働かせ、また実現のために新たな活動に挑戦することで、市民の方々に信頼され、愛される公共交通になれるのではないかと思います。

梅津支部　宝関　一郎

震災の影響や前日の台風にも関わらず、他都市の組合役員様の列席が多く、すばらしいと思いました。

梅津支部　江谷　孝行

もう少し質疑に時間が掛かるかと思いましたが、スムーズに行われたので驚きました。それだけ議案書がしっかり出来ているのだと感じました。

九条支部　松田　泰典

初めて定期大会に参加し、市長をはじめ多数の来賓の方々お話しを拝聴し勉強になりました。これからは代議員として、組合員の中心的存在になるよう努力し、積極的に京交活動に取組み、活気あふれる支部とともに未来に繋がる京交を目指して頑張りたいと実感しました。

自整支部　中島健太郎

市長はじめ各層の来賓方々のお祝い並びにお褒めの挨拶があった中で、特に印象に残ったのが管理者の言葉で、「経営健全化に向けて数字は上向いてきたが、目標を達成できたわけではない。もう一度気を引き締めなおしてほしい。」というものでした。我々も一丸となって京交の取り組みをさらに盛り上げていかなければならないと思いました。

駅務支部　水上　裕貴

初めての大会参加でしたが会場の熱気に圧倒されました。今回の経験を今後の活動に生かしていきたいです。

東西線乗務支部　金島　正樹

今回の大会で、瀬戸委員長が「職員一人一人が高い意識を持って、質の高いサービスを実施する」と宣言したことが非常に印象深かった。そこには、事業の廃止に追い込まれた他都市の事例からの危機感があってのことだと思う。ただ近年の交通局は「変化」してきていると思う。駅ナカビジネスなどで駅は賑わいが創出され「明るく」なり、増客効果が表れている。次は私たち自身が「変化」することで、この状況を維持、そして今後も公営交通が存続していくために、お客様に「交通局があってよかった」と言わしめるための職員の意識改革と不断の努力、さらには存在価値の積極的なアピールが必要だと感じさせられました。

駅務支部　松本　竹央

役員の皆さんの日頃の活動への取り組み姿勢に感心しました。

駅務支部　濱口　忍

初めて参加しましたが、色々と大変勉強になりました。

大　会　宣　言

私たち京都交通労働組合は、ここ「京都ロイヤルホテル＆スパ」において第83回定期大会を開催し、過去１年間の活動を総括するとともに、私たちの職場を守るための向こう１年間の運動方針を決定した。

日本は今、東日本大震災、原子力発電問題を抱えた非常事態の下で、社会・経済・国民生活の停滞を余儀なくされている。このような国難の中であっても、戦後の廃墟から不死鳥のように復興を成し遂げた時のように、国民一丸となって、一刻も早い復旧・復興に向け前進しなければならない。強い国日本の復活に全世界からの眼差しが注がれている。国民の大きな期待のもとスタートを切った新政権も２年が経過し、度重なる首相交代で信頼低下を招いているが、新体制の下、国民の負託を受けた政権政党として原点回帰を望むところである。決断と実行で「国民の生活が第一」の基本姿勢を貫き、政局よりも国民のための政治に専念する、「安心・安全」の国づくりが今、求められている。

公営交通を取り巻く環境は、民間移譲や事業廃止の嵐が止むことなく吹き荒れ、地方財政逼迫の「スケープゴート」に晒される環境のもと、窮地に立たされている。しかし、非常時における公営交通の役割は、東日本大震災時の対応でも明らかなとおり、行政サービスの一翼を担う重要な存在であることが証明された。この機に公営の使命・機能の重要性を広く認知させることが重要である。また、規制緩和によって奪われた交通空白区と呼ばれる地域の足を確保するため、公共交通が果たす使命・役割が今後益々重要になることは間違いない。引き続き、公営交通の存在意義・存在価値を積極的にアピールするとともに、「安全・安心・信頼」の３拍子揃った「強い市バス・地下鉄」の構築を図らなければならない。

私たち京都交通労働組合は、いかなる状況下に置かれようとも、質の高いチームワークの形成と士気の高い職場風土の形成に向けて全力で取り組み、信頼される「市バス・地下鉄」ブランドの構築に向け邁進する決意である。市民の財産並びに生活交通の核である公営交通が多くの「ステークホルダー」に支持され、財政健全化団体からの早期脱却を実現し、未来永劫京都の街を走り続けるため、固い絆で結ばれた仲間と共に奮闘し、組合員と家族の生活を守ることに全力を傾注する決意である。

社会情勢の変化に柔軟に対応し、「創造と挑戦」～公共交通の頂を目指して～、京交一致団結し、全力で闘い抜くことをここに宣言する。

2011年９月22日

京都交通労働組合
第83回定期大会

第83回 定期大会 表彰者

西野内　修　一
執行委員４年
支部長４年
中央委員６年
東西線乗務支部

・編集余談・・

第八十三回の定期大会も無事終了することができた。多くの役者が揃った結果であろう。八十三回の歴史の積み重ねを一言では表現できないが、京都の労働運動の先駆者として、多くの先輩方が積み上げてきた歴史に今年も加担することができた。公営交通を取り巻く情勢が好転しない中、どれだけの足跡を残せるのだろう。役員であっても、組合員であっても、定年を迎えて一市民になっても、命の灯が消えてなくなる瞬間まで、大好きな「市バス・地下鉄」に関わっていたい。そんな熱い思いは、私だけではないはずだ。地に足をつけ、一歩一歩確実に前進することと、希望を持って一年一年を大切に固い絆で結ばれた仲間とともに歩むしかない。さぁ！明日に向かってガンバロウ！

（S・S）